

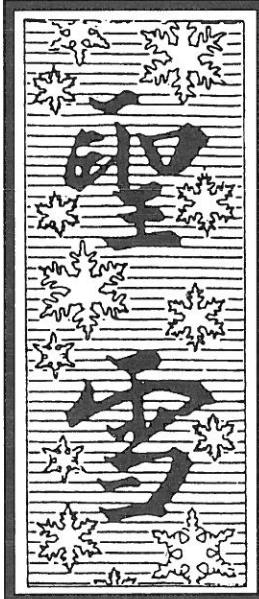
五十回生の皆さん、卒業おめでとうございます。私は、皆さんの中学校に入学した年に一緒に本校にまいりました。本校の節目となる五十周年記念のクリスマスコンサートでは、緊張の中でのイエス・キリストの「降誕をお祝いする気持ちを一生懸命、合唱で表現してくれました。様々な折に互いに競い合った。切磋琢磨を続けてきました学年でした。球技大会では、絶対優勝するという強い意志をもつて頑張っていたのが印象的でした。

本校がスーパーグローバルハイスクール(SGH)として本格的に活動し始めた二年目に高校に入学した皆さん

は、三年間取り組んだ学校設定科目グローバルイシューズの成果を、授業や行事、ポスターセッション、あるいは全国の高校生が集まつたSGH甲子園やSGHフーラムの場で発表し、本校が創立当時から掲げている「世界に目を向け、深く考え、他者のための行動力を生かす」ことを実践しました。

高校三年生で中心となつた課題は、アクションプランをつくり、実行する

ことでした。ハードルが高いと感じた人もいたと思いますが、「子ども食堂の普及・意識向上のためのリーフレット作り」「発展途上国の子どもの栄養補給のための補助食品導入の働きかけ」「地球にやさしい商品選び」「フィリピンに物資を届けよう」、など多彩な取組を通じて皆さんには、企業や団体などの折衝、どうしたらプランの趣旨や内



発行所
札幌聖心女子学院

札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1
TEL (011) 611-9231

トでは、声を合わせ、感謝と喜びを全身で表現してくれました。また自らを律し、他者のための行動力を育むクリスマス・プラクティスでは、心を合わせて静けさを創り出す意義を、自作のプリント用意して、分かりやすく、中学生に説明してくれました。

一人ひとりが様々な研究テーマを限りある時間の中で調べ、推論し、自分の考えをまとめた卒業研究は見事でした。設定したテーマについて、単に参考資料の記述などを集めるだけではなく、明確な根拠を示し、自分で考えたことをしっかりと発表ってくれました。

国内外での研修や留学、SGH、課題研究、そして卒業研究に懸命に取り組んだ皆さんは、自ら学ぼうとする意気をしっかりと発表してくれました。今年は、聖フィリピン・デュシェーンが、四人の仲間とレベッカ号で祖国フランスを離れ、大西洋の荒波を超えて開拓地アメリカに渡つてから二百年目を記念し、お祝いする「レベッカ・モーメント」の年です。昨年秋に聖心会第十七代総長シスターバラ・ドーソンから、生涯、祈りの人といわれた聖フィリピン・デュシェーンは、苦難の中にあっても、新大陸に渡る決意をした最初の目的を見失うことなく努力を続け、自らの命を懸けて新しい未来を切り開いたというお話を伺いました。

これから皆さんは、激しく変化する

レベッカ・モーメント 船出の時

校長 阿部 益太郎

容を分かつていただけるなど、対話する力、交渉する力、そして信用を得る力の大切さを学びました。これら全てがグローバルリーダーに求められる資質・能力であり、大きな財産となりました。

皆さんには、「決して一人にはしない。いつも共にいる。」という神の想いを受けて、「神はわれらとともに『Immanuel』」けて、テマに開催したクリスマスコンサ

としての優しさと強さ、学び得た知識を活用する思慮深さを身につけた皆さんには、急速な変化の中につけても、自分を見失うことなく、変化を受け止め、多面的に捉え、しなやかに対応できる賢明な女性となつてください。

今日は、世界の平和が急速に脅かされようとしています。世界中で内向きの動きが広がっています。我が国にとても近隣諸国との間の緊張緩和、平和構築が大きな課題です。

皆さんには、対話と共生の大切さを札幌聖心女子学院で学びました。物事を多面的に捉え、よく考え、しっかりと意見をもち、自らの信念に基づいて行動できる人であると確信しています。今年は、聖フィリピン・デュシェーンが、四人の仲間とレベッカ号で祖国フランスを離れ、大西洋の荒波を超えて開拓地アメリカに渡つてから二百年目を記念し、お祝いする「レベッカ・モーメント」の年です。昨年秋に聖心会第十七代総長シスターバラ・ドーソンから、生涯、祈りの人といわれた聖フィリピン・デュシェーンは、苦難の中にあっても、新大陸に渡る決意をした最初の目的を見失うことなく努力を続け、自らの命を懸けて新しい未来を切り開いたというお話を伺いました。

これから皆さんは、激しく変化する

としての優しさと強さ、学び得た知識を活用する思慮深さを身につけた皆さんには、急速な変化の中につけても、自分を見失うことなく、変化を受け止め、多面的に捉え、しなやかに対応できる賢明な女性となつてください。

イエスのみこころの想いに基づく、創立者聖マグダlena・ソフィアの建学の精神のもと、「気づき」と「ふりかえり」を大切にしている札幌聖心で学んだ皆さんの門出をお祝いするとともに、ますますの活躍と幸せな未来をお祈りし、はなむけいたします。



十二月十五日(金)と十六日(土)にクリスマスコンサートが開催されました。今年のテーマ「Immanuel」は「神は我らと共に」という意味で、お客様にクリスマスを祝福する気持ちを届けられますようにという思いが込められています。

私たちは十一月頃からそれぞれのクラスや団体で練習に励みました。練習の成果を発揮し、タブロー やオーケストラ部の演奏、コーラス部や生徒の合唱が一つになり、すば

クリスマス コンサート を終えて



らしいクリス

マスコンサー

トを創ること

ができたと思

います。今年

で最後となる



■高校卒業式 ■

希望を胸に



二月十日(土)に第五十一回高等学校卒業式が行われ、ご来賓・保護者の方々をはじめ、先生方、下級生にあたたかく見守られながら、高校三年生が晴れ晴れとした姿で卒業されました。当日は少し暖かく感じられるほど天気がよく、厳肅な雰囲気の中にも、心のこもった素晴らしいマスコンサ

トを引っ張つてくださいました。また、今年初めて参加する中学一年生は慣れない中でも積極的に歌や手話の練習に励んでいました。

(高一 木村 果鈴)

中三 卒業研究

大切なことを学んだ

卒業研究

私達中学三年生は卒業研究発表会に向けて、メンターの先生にアドバイスをいただきながら一年間研究を進めてまいりました。私は「なぜ東日本大震災の津波の被害を防ぐことができなかつたのか」というテーマで研究を進め、震災を忘れないため日本大震災を提案しました。

卒業研究を通して私は二つのことを学びました。一つ目は時間の使い方です。限られた時間の中で課題を

終わらせるとの大切さを学びました。二つ目は多くの情報を分かりやすくまとめることがあります。卒業研究ではテーマに関わる細かなことまで調べなくてはいけないため情報が多くなってしまいます。それをレポートや六分間の発表にまとめるのは、大変でしたが取捨選択する力やまとめる力が身につきました。

他の人の発表もとても興味深いものばかりでした。今回自分が調べたことはもちろん、他の人が調べていたこともこれから的生活や学習に活かしていきたいと思いました。

(中三 中村 雛子)



きました。在校生による卒業生を送る歌では、歌詞の意味をかみしめながら、様々な思いを伝えました。卒業生による歌からは、これから旅立つていきますという、力強いメッセージを受け取ったように感じました。私は卒業式の中で心に残っている学校卒業式が行われ、ご来賓・保護者の方々をはじめ、先生方、下級生にあたたかく見守られながら、高校三年生が晴れ晴れとした姿で卒業されました。当日は少し暖かく感じられるほど天気がよく、厳肅な雰囲気の中にも、心のこもった素晴らしいマスコンサートを引っ張つてくださいました。それも一つひとつに感謝の気持ちが込められていて、私も先輩方との思い出を振り返ると、自然と目が潤んできました。高校三年生の方々はいつも私たちの一歩前を歩き、私たちを引っ張つてくださいました。これからますますのご活躍をお祈りしています。

(高一 木村 京香)

中三・修学旅行**日本の魅力を
再発見できた旅**

た修学旅行で出会った全ての方が親切で、そのおかげでより実り多い旅となりました。心から感謝いたしました。

(中三 吉田 真季)

私達中学三年生は十月十日(火)

～十三日(金)の三泊四日の間、京都と奈良へ修学旅行に行ってまいりました。

事前学習として、お寺や神社についてのポスターを作成したり、実際に行ってみないとわからぬい建造物クイズを作ったりと学びを深めました。

一日目は薬師寺や法隆寺、二日目は平等院鳳凰堂、金閣寺など、四日目は東大寺を訪問しました。事前学習を行ったことで、実際に見て見られたときの感動が大きく、また資料などでは分からなかつた建造物の細部まで見ることができ、迫力を感じました。

三日目はグループに分かれタクシーを使って自主研修をしました。自主研修では訪問する場所や行うこと全て自分で計画することができます。実際に私はずっと行きたかった鈴虫寺を訪れることができ、とても充実した研修となりました。

私はこの四日間、沢山の建造物を見ることで日本の文化の魅力を再発見することができました。このような日本特有の文化をもっと世界に発信していくべきだと感じました。ま

**高二・見学旅行****爆心地の長崎
信徒発見**

(高一 白鳥 麗夏)

私達高校二年生は、十月十日(火)～十三日(金)に長崎へ見学旅行に行ってまいりました。キリスト教と関わりが深い土地であると共に、爆心地でもある長崎は、学ぶべきこと、改めて考えることが多くありました。

S A D E では学年の皆のことを考える時間がありました。今まであまり話したことのない人とも毎日話す人とも同じだけ一緒に活動しました。わだかまりがあつた部分も自分から思いを伝えることで少し楽になつたところもありました。今回得たことをこれからも大切にしていきたいと思います。

(高一 寒河江 千畠)

高一**S A D E を通して
得た 深い実り**

十月十二日(木)～十四日(土)

までの二泊三日、私たち高校一年生はS A D E に参加しました。

始めに、神父様に自己紹介をし、気持ちが和らぎました。三日間、出された問い合わせに対し、自分の家族や友人のことを考え、今まで気付かなかつた自分の思いに耳を傾けて振り返り、同じグループの人と分かち合いました。普段は聞くことのない話から、その人の本当の思いを知ることができました。また、自分自身を振り返ることで、忙しい毎日の中で忘れていた大切なことに気付き

ました。

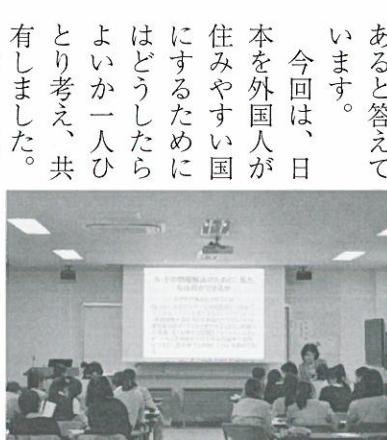
S A D E では学年の皆のことを考える時間がありました。今まであまり話したことのない人とも毎日話す人とも同じだけ一緒に活動しました。わだかまりがあつた部分も自分から思いを伝えることで少し楽になつたところもありました。今回得たことをこれからも大切にしていきたいと思います。

日本は外国人にとって 住みやすい国か？

有の閉鎖的な考え方に対する疑問を感じる人々は、実際に治安が良い、貧富の差が少ないなどの良い所を感じている反面、常に外国人扱いされる、日本人特有の閉鎖的な考え方に対する困ったことが

二月七日（水）に行われた今年度最後の課題研究ミーティングは、聖心女子大学文学部国際交流学科教授の小川百合先生にお話を伺いました。現在日本に住む外国人は約二五〇万人います。

これらの人々は、実際に治安が良い、貧富の差が少ないなどの良い所を感じている反面、常に外国人扱いされる、日本人特



国際関係ミーティング

（高一 村越 真衣）

寺子屋を建設し識字教育を支援するため、札幌ユネスコ協会ではカンボジアに向けて、この活動を行っています。

私は寺子屋建設前に現地に赴いて「運動」についてでした。

大人には職業訓練を実施したりもしています。一方的に与えるだけではない、ニーズに合わせた支援が重要であると感じました。



十月六日（金）、七日（土）の二日間、SGH研究発表会が行われました。この夏、国内外の研修に参加した十四の団体が、事前研修の内容や研修当日の様子、見出した課題などについて発表しました。

高校一年生・二年生は、「人との共生」・「自然との共生」をテーマに、半年に渡って調べてきました。全校生徒と分かち合いました。中学生は高校に入つてからどの研修に参加するかを考えながら、熱心に発表を聞いているようでした。また高校生は、今回見つけた課題をどのようにアクションプランに繋げるかを考える機会となりました。

体験学習ではブラインドウォークやイスとりゲームをし、大事なことを学びました。例えば、ブラインドウォークでは、タオルで目隠しをして、ペアの人につかまって学校の中を歩いて、「信頼する」ことの大切さを学びました。

関谷先生のお話の時間では、世界の子どもたちの状況が写されたビデオを見ました。このビデオを見て、子どもたちの様子にとても衝撃を受けました。しかし、そこから私たちに何ができるかを考えることができ、短い時間でしたが、とても貴重なことを学ぶことができました。

（高二 鳥丸 碧里）

日本の問題点を取り上げ、客観的に解決に向けて考えるよい機会となりました。皆がいきいきと意見交換をしている姿が印象的でした。



S G H 研究発表会



中一 初めての修養会

中一

初めての修養会

（中一 小宮 柚）

必要な場所に 必要なことを

十一月八日（水）の国際関係ミーティングでは、札幌ユネスコ協会の中村康江様よりユネスコの活動についてお話を伺いました。

世界遺産のイメージが強いユネスコですが、今回の話題は「世界寺子屋運動」についてでした。

寺子屋を建設し識字教育を支援するもので、札幌ユネスコ協会ではカンボジアに向けて、この活動を行っています。

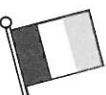
私は寺子屋建設前に現地に赴いて



シカゴ短期留学



フランス短期留学



プロジェクト短期留学



初めての

ホームステイ

私は一月六日（土）～二十七日
（土）までシアトルにあるForest
Ridgeに短期留学に行って参りました。

学校生活では、英語や政治などの授業をパソコンを使用して受けることに不安も多かったのですが、先生やクラスメイトのおかげでどの授業も楽しく学ぶことができました。

私は、一月六日（土）（二十八日（日）の三週間、アメリカ・プリンストンにある姉妹校へ短期留学して参りました。私のホストシスターは、昨年の夏に札幌聖心に留学生として来ており、私の家にホームステイしていくので、久しぶりの再会でした。姉妹校の皆さんは私をとても温かく迎え入れてくれ、楽しく毎日

私はホームステイをするのが初めてだったので、とても緊張していました。しかし、ホストファミリーの方々にまるで家族のように接していただきて、とても楽しく過ごすことができました。四人兄弟でとてもにぎやかな家庭で、一人っ子の私にとってとても貴重な経験となりました。

温かく迎え入れてくれ、楽しく毎を過ごすことができました。

た。
（高二 小林 真奈帆）

また、様々な人種の生徒が在籍し、食事もインド・メキシコ・中国・タイなど世界各国の料理を味わうことができ、多民族社会であるアメリカを感じることができました。同時に、英語がもつと話せたらと思うときが多くあつたので、英語力を向上させたいと思います。

(高二 東由理花)



素敵な人との出会いに感謝し、これから学びの糧にしたいです。

私たち高校一年生の二名は、九月三週間、シカゴの姉妹校に短期留学をして参りました。シカゴの姉妹校は、日本の学校と比べて自由な校風でしたが、生徒は皆真面目で、積極的に発言したり部活動のために遅くまで学校に残つたりと、充実した学校生活を送っていました。私はこうした同世代の積極的な姿勢に刺激を受け、それまでの自分の学校生活の送り方を見つめ直すきっかけになりました。

また、短期留学の間にお世話になつたホストファミリーには、とても親切にしていただき、帰国後もメールでやり取りをしています。

私たち高校一年生の二名は、九月十六日（土）～十月八日（日）の約三週間、シカゴの姉妹校に短期留学をして参りました。シカゴの姉妹校は、日本の学校と比べて自由な校風でしたが、生徒は皆眞面目で、積極的に発言したり部活動のために遅くまで学校に残つたりと、充実した学校生活を送っていました。私はこう私は一月六日（土）～二十六日（金）の二十一日間、フランスのナントへ短期留学をして参りました。フランスへ行つて一番最初に感じたのは言語の違いです。今までにも英語が母国語ではない国を訪れたことはありますたが、改めて共通の言語を持つことの大切さを知りました。また、島国である日本と違つ

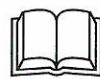
した同世代の積極的な姿勢に刺激を受け、それまでの自分の学校生活の受け方を見つめ直すきっかけになりました。

また、短期留学の間にお世話になつたホストファミリーには、とても親切にしていただき、帰国後もメールでやり取りをしています。

素敵な人との出

てフランスは隣国との距離が近いため、自ら第二言語を学んでいる生徒が大勢いました。この事から多文化・多言語と交流しようとする姿勢を学んだように思います。

この研修に関わつた方々、フランス語の不自由な私を受け入れてくれたホストファミリーと現地の友人に心から感謝いたします。



—ISSエビ 得た経験



には、札幌聖心女子学院の説明とよさこいを披露しました。声をそろえて笑顔ででき、成功をおさめることができた。



私たち中学二年生は一月十日（水）～十九日（金）まで聖心インターナショナルスクール（ISSH）に国内留学へ行つて参りました。始めは緊張していく不安でした。周りが英語ばかりの環境に慣れず、戸惑うこともありましたが、ISSHの皆さんのが優しさに助けられ、毎日が楽しみになりました。そして、段々と英語でコミュニケーションをとれるようになっていき、仲も深められました。七日目

スキー学習を終えて

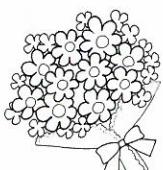


私は一月三十日（火）にばんけいスキー場に行き、インストラクターの方にスキーの指導を受けました。最初は久しぶりのスキーだったので、ぎこちなく滑っていましたが、昼食の後から徐々に感覚を取り戻し、楽しく滑ることができました。

その日はとても寒く、手がかなり冷んで大変だったので、ケガに気をつけ、体調管理をしっかり行いました。また、二月十九日（月）にはスキーデーがあるので、



受賞おめでとう



内閣総理大臣賞文部科学大臣椎尾弁匡記念第71回全国高等学校弁論大会
東海中学校・高等学校同窓会賞

第63回札幌市読書感想文コンクール北海道教育評論社賞

高一 竹内 萌乃
高一 菊池 優花
高一 佐藤 百華

第65回全国高等学校決勝弁論大会
第5位 高二 中村 理峰
平成29年度石狩支部高等学校弁論大会 奨励賞
高二 中村 理峰

第12回北海道小・中・高短歌コンテスト
優秀賞
高一 滉田 小麦

第63回青少年読書感想文全道コンクール
優秀賞
高一 大久保絵未

高一 瀬川 こころ
高一 瀬川 こころ

第7回安達峰一郎記念世界平和弁論大会
高校生の部 最優秀賞
高二 中村 理峰

第12回北海道小・中・高短歌コンテスト
優秀賞
高一 滉田 小麦

第63回青少年読書感想文全道コンクール
優秀賞
高一 大久保絵未

高一 瀬川 こころ
高一 瀬川 こころ

第5位・優秀賞 高二 中村 理峰
第38回札幌市中学校英語暗唱大会
第6位 中二 村松 名純

第12回北海道小・中・高短歌コンテスト
優秀賞
高一 滉田 小麦

第63回青少年読書感想文全道コンクール
優秀賞
高一 大久保絵未

高一 瀬川 こころ
高一 瀬川 こころ

第7回全国中学生英語ディベート大会
Best Debater 中二 田嶋 来未

第12回北海道小・中・高短歌コンテスト
優秀賞
高一 滉田 小麦

第63回青少年読書感想文全道コンクール
優秀賞
高一 大久保絵未

高一 瀬川 こころ
高一 瀬川 こころ

第18回全道高等学校英語弁論大会
第3位 高二 森川 祐羽
第5位 高二 小林 千尋

第12回北海道小・中・高短歌コンテスト
優秀賞
高一 滉田 小麦

第63回青少年読書感想文全道コンクール
優秀賞
高一 大久保絵未

高一 瀬川 こころ
高一 瀬川 こころ

JICA国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト二〇一七
佳作
札幌聖心女子学院中学校・高等学校
学校賞

第21回図書館を使った調べる学習コンクール
佳作
札幌聖心女子学院中学校・高等学校
学校賞

第21回図書館を使った調べる学習コンクール
佳作
札幌聖心女子学院中学校・高等学校
学校賞

第3回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会
ベストディベーター賞・10位
高二 澤江千花子

第6回平和のメッセージコンテスト
ちくぜん 高校生の部
入選
高二 瀬川 こころ
高一 寒河江千畝

授業導入賞 札幌聖心女子学院高等学校
第6回平和のメッセージコンテスト
ちくぜん 高校生の部
入選
高二 瀬川 こころ
高一 寒河江千畝

第6回平和のメッセージコンテスト
ちくぜん 高校生の部
入選
高二 瀬川 こころ
高一 寒河江千畝